

研究課題名	心房機能性僧帽弁閉鎖不全症における左房縫縮術の成績
研究の意義・目的	心房機能性僧帽弁閉鎖不全症に対して手術を施行された患者様において、術後成績及び遠隔期の成績を明らかにすることです。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日 ~ 2028 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2008 年 3 月~2026 年 3 月に大阪公立大学医学部附属病院の心臓血管外科へ、心房機能性僧帽弁閉鎖不全症のため受診され、手術を施行された方が対象となります。また、手術施行当時の年齢が 18 歳以上の方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究に参加していただいている期間中の診療情報を、本研究のために使用させていただきます。(患者基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、既往歴、服薬歴、喫煙歴、アルコール歴、アレルギー歴) 術前術後血液検査結果：赤血球数、白血球数、血小板数、PT-INR、APTT、Fbg、FDP、D-dimer、CRP、Alb、T-Bil、D-Bil、AST、ALT、ALP、ChE、血清クレアチニン、BUN、LDH、CK、CKMB、T-Cho、LDL-Cho、HDL-Cho、TSH、F-T3、F-T4、NTproBNP、BNP、FBS、HbA1c これら採血データは、本研究に参加していただくにあたり通常の診療の範囲内で行います。 画像診断結果：胸部単純レントゲン、CT画像、MRI画像、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	<p>この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科心臓血管外科学のみで行います。</p> <p>【研究責任者】高橋 洋介</p>
本研究の 利益相反	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力を したくない場合	<p>下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。</p>
連絡先	<p>大阪公立大学大学院医学研究科 心臓血管外科学</p> <p>(担当者氏名) 高橋 洋介</p> <p>電話番号：(06) 6645-3980</p> <p>メールアドレス：takahashi.yosuke@omu.ac.jp</p>